

東播支部だより

第93号
発行所
公益社団法人
兵庫県隊友会
東播支部
0790-49-3027
発行責任者
桑原 博



青野原駐屯地 創立50周年記念行事

今年で創立から50年となる青野原駐屯地の記念行事が5月31日（日）に行われ、隊友会東播支部石田支部長以下多数の会員が参加して祝福しておられました。

創立から半世紀を迎えたことを祝って、石川県の航空自衛隊小松基地から2機のF15戦闘機の祝賀飛行が計画されており、朝9時前から青野原駐屯地周辺の道路は大渋滞で、列をなした車両が動かない状態となり、10時の時点で来場予定の来賓の多くが到着されていないため、式典開始を30分遅らせる事態が発生しました。

後日、総来場者数は約8千人超と発表され、今までで一番多かった記念行事来場者数の2倍以上の人数であり、各駐車場地域を往復する送迎バスについても渋滞混雑で役に立たない状態であったと聞いています。



「観閲式 準備完了」



「式典開始前の正門風景」



「F15による祝賀飛行」



「観閲官 式辞」

しかし、30分遅れの開始でしたが式典、観閲行進、F15戦闘機2機による祝賀飛行、中部方面音楽隊による音楽演奏、訓練展示、格闘演武が計画通りに行われました。

その間駐屯地内では自衛隊車両による試乗、子供広場でのエア遊具による遊び場設置、キッチンカーによる食べ物販売等が行われており、多くの来場者が列をなして順番を待っておられました。また、駐屯地売店でのお土産品購入を予定しておられた来場者についても長い列を作って順番待ちの状態でありました。

特にF15戦闘機の祝賀飛行については、記念行事会場通過時に機体を左右に揺らせながら飛行していたのが印象的でした。後にその動作は「感謝の気持ちを込めた飛行」であると教えられ、一つは阪神淡路・東日本・能登半島における大震災災害派遣・ボランティア等に対する感謝の気持ち、2つ目は来場された多くのお客様に対する感謝の気持ちが伝えられたのではと勝手に解釈しました。

記念式典や祝賀会食会場において、駐屯地司令は50年間駐屯地を支えて頂いた地域の皆様・来場された多くの方々のおかげで本日を迎えることができたことに感謝の意を述べておられました。

また、お話を頂く来賓の方々からは、日本を取り巻く各国の状況を考えると非常に厳しい時代を迎えていると述べておられました。

えている。隊員の皆様の労に對し心から感謝と敬意の気持ちを述べておられました。

50周年はまだまだ通過点であり、ここから更に青野原駐屯地として伝統を培って逞しく、地域をはじめ国民に信頼される駐屯地・隊員として躍進していただくために、我々隊友会についても、少しでも青野原駐屯地及び駐屯地隊員に貢献できる行事を続けて行きたい。そして、55周年、60周年と流れゆく年月の中で更なる繋がりを大切にして心からお祝いできる気持ちをもち続けていくことが大切であると再認識することが出来ました。

最後に、来賓来場者・同伴者には、来場の感謝の気持ちを込めた記念品が配布されました。この記念品の一部は支部会員数名が推進役として作成に協力し、駐屯地に貢献していました。

参加された一般客を含め、来賓・同伴者の皆様が行事に大変満足されている姿を見て、50周年記念行事の成功を肌で感じる事が出来ました。

※一部の写真を第八高射特科群から提供受け

事務局長 細貝 寛徳



青野ヶ原演習場慰霊碑 及び海軍航空隊鶉野飛 行場祈念碑の清掃及び 慰霊行事

隊友会東播支部石田真一支部長以下22名の会員は今年も青野原演習場内の慰霊碑清掃と慰霊行事を行いました。連日の猛暑が続いており当日も過酷な高温が予想されるため、草刈り機持参加者については朝5時過ぎから青野ヶ原演習場南廠舎近傍の慰霊碑周りの除草を開始されました。幸い当日の午前中は曇り空の天候となり、厳しい日差しが影を潜めており絶好の作業日となりました。

朝7時前には2か所の慰霊碑周りの清掃を終了し、慰霊碑の埃りを払ってお花を飾り焼香を準備して慰霊を行って終了となりました。

終了後に慰霊前に集合し、今年、兵庫県隊友会 小川会長からの表彰受賞者である桑原理事役に支部長から表彰状の伝達をしていただきました。

その後、22名の会員は、加西市鶉野町にある姫路海軍航空隊鶉野飛行場跡地に移動し、鶉野

平和祈念の碑苑保存会の皆様と合流し、元々平和祈念の碑を建立していた場所の除草・藤棚の木の伐採等の作業支援を行いました。



特に保存会の皆様は高齢化が進み、簡単な作業においても重労働であると聞いているため、長年お付き合いをさせていただいている隊友会東播支部が支援していきましようということで共同作業をしています。

加西市は海軍航空隊の戦争遺跡として鶴野飛行場跡地を観光名所として宣伝しており、保存会が建立した祈念碑についても市が移設し、紫電改の原型模型を展示している建物周りを観光の中心部として充実させ、「soraかい」としてPRしており連日多数の観光客でにぎわいを見せています。

ここ数年は、猛暑が続くこの時期の清掃作業実施は非常に過酷であるため、時期をずらして行うことも検討するべきではないかと思見も出されており、来年度の実施時期を役員で審議していく予定です。

最後に、現在建立されている平和祈念の碑に手を合わせ、今の日本があるのは命を賭して戦った若い戦士のお陰であり、その尊い犠牲に対して毎年哀悼の意を捧げることは「忘れない、同じ過ちを繰り返さない」という気持ちを隊友会会員だけでも強く持ち続けるこ

とが大切であると思いつつ、慰霊して終了しました。

事務局長 細貝 寛徳

「海軍航空隊鶴野飛行場 祈念碑での慰霊行事」



「奉仕作業終了後の集合写真」



兵庫県隊友会 定時総会に参加して

令和8年7月5日（日）神戸市にある湊川神社内の楠公会館（ななこうかいかん）において行われた令和8年度兵庫県隊友会定時総会に石田支部長以下6名が参加した。

総会は物故者の黙とうから始まり、年度表彰者への伝達・表彰の後に通常の総会内容として前年度実績、新年度事業報告、役員の交代等の審議が行われ、済々と議事が進行しました。

表彰につきましては、本部表彰伝達、県隊友会会長表彰等が行われ、我が東播支部からは本部表彰対象者として80歳以上の部で長年支部の理事役として活躍されてきた上中 武理事役（87歳）が県隊友会 小川会長から表彰状の伝達を受けられました。県隊友会会長の表彰においては、今年度から支部の副支部長として活躍されている小西池 守副支部長と支部理事役として新聞担当として活躍して頂いている桑原 博理事役（当日所要により欠席）が表彰されました。役員の交代においては、本年度まで長きに渡り会長の要職を全う

された小川 祥一会長が離任され、新たに國友 昭副会長が会長に任命され、会長就任が満場一致で可決されました。

定時総会の後に第3師団長による防衛講話、最後に懇親会が行われ、兵庫県隊友会の各支部との交流を含め楽しい時間を過ごすとともに、令和8年度の事業が開始されたことを実感しました。

事務局長 細貝 寛徳

本部長表彰（80歳以上） 上中 武 理事役



県隊友会 会長表彰受賞 小西池 守 副支部長



理事役 原田 剛

A man in a tuxedo with a red ribbon and a medal stands next to a framed certificate and a small display of awards. The certificate is framed in gold and contains text in Chinese and English, along with a red seal and a small medal. The small display contains a blue ribbon, a star medal, and a small plaque.

（緊急連絡網の点検）

3月末又は4月初旬予定 理事役会至

桑原 博（加西市）

今月は、さつま芋の収穫祭が予定されています。会員の皆様に愛情を込めて育てていただき、ましたさつま芋を今年も沢山の方々が心待ちにされています。さつま芋の管理に携わっています。さつま芋のご功労に深く感謝申し上げます。

今後におきましても、皆様からの引き続きのご支援・ご協力並びに多種多様な投稿をお待ちしております。